

7 ランチャイズ方式により全国に360拠点超のデイサービス「茶話本舗」を展開する㈱日本介護福祉グループ（東京都墨田区、小柳壮輔社長）。同社では、チェーン全体のサービス品質の維持・向上や、法令順守体制の構築の一環として、昨年度より自社チェーンの品質管理を目的とした自主基準の策定を進めていた。

デイサービスに関しては12年度の介護保険制度改正で「お泊りデイ」の制度化に向け、厚生労働省予算にて全国100事業所で調査研究事業を行なうことが予定されるほか、東京都では同サービスの届出制度と都独自の運営基準の策定も予定されている。

同社では「東京都の独自基準はいずれ全国へも広がっていくものと考えている」（小柳社長）としており、都独自基準に対する提言（内容は同社HP参照）を行なう一方、制度策定後は都内全店舗について速やかに登録を行なう予定。また東京都以外の店舗についても、まずは、同社の独自基準を徹底し、従来以上に安心して利用できるサービス内容や運営体制の確立を目指すとしている。

その概要は別表にあるとおり。さる4月14、19日には東京で、22日には大阪で、全国のFC加盟店経営者を対象にした「全国茶話本舗オーナー会」を開催、策定した自主基準の発表と本部の管理・指導体制の説明が行なわれた。

別表 自主ルール規定の主な内容

○利用定員人数：日中帯10人、夜間帯5人

○配置人員基準：日中帯／2.5：1以上
夜間帯／5：1以上

○料金体系

・食費：朝食400円、昼食200円、夕食400円

・延長サービス料金：1時間当たり100円

・夜間サポート料金：1泊当たり800円

・自主ケアサポート料金：3,000円（要介護3～5）
2,500円（要支援1・2＋要介護1・2）

○夜間帯の宿泊環境

・男女は必ず別室（パーテーション等は不可）

・同室の利用者同士の目線が合わないような配慮（カーテン等）

○防災、防火対策基準

・消防法（6項目）その他の法令等に規定された設備を確実に設置
・年2回の消防訓練を実施（うち1回は夜間を想定した訓練内容）

○食事の提供に関する基準

・食材費は食費と同一程度の金額とし、水道光熱費等は含まない
・栄養、心身の状況、嗜好を考慮した食事を適切な時間に提供する

・特別なメニューを除いて毎食「1汁3菜」となるよう心がける

○自主サービス（早朝、延長サービス、夜間ケアサポート）の介護計画、記録等の作成基準

・自主サービス利用者については、継続利用日数や当該利用者のケアマネジャーなどと連携を図り、本部指定の「介護サポートサービス計画書」「介護経過表」などを作成、在宅復帰など適切なアプローチを行なう。